

答辞

御菌中学校を駆け抜ける冷たい外気も和らぎ、陽の光が校舎を暖かく照らす季節となりました。本日このような素晴らしい卒業の日を迎えられたことを、心から嬉しく思います。校長先生をはじめとする先生方、ご来賓の皆様、保護者の皆様、在校生の皆さん、卒業生一同、心よりお礼を申し上げます。

入学したあの日から、三年が経ったかと思うと、長いようで短い中学校生活でした。今振り返ると、この三年間を昨日のことに鮮明に思い出します。中学校生活の始まりである入学式では不安を抱いていましたが、頼もしい先輩方に背中を押されて不安は大きな希望となりました。

一年生では小学校の頃とは違う生活に驚きつつ、必死に先輩方のような中学生になろうと頑張っていました。先輩方の背中が大きく私たちはその姿に憧れていました。初めての部活動は失敗や疲労がありながらも、それらを忘れるほど楽しく充実した活動の時間でした。

二年生になると初めての後輩ができ、先輩方のような頼もしい姿を見せられるか不安に思うこともありました。勉強も難しくなり忙しい日が増えました。しかし、少しでも先輩方に近付こうと頑張り、また、職場体験などの今までにない経験をさせていただくこともたくさんあり、成長できました。

そして中学校生活最後の年になると、今まで道を開いてくれていた先輩方は学校を去り、私たちが最高学年となり、学校を代表とする立場になりました。三年生としての重圧を感じながらも、それは次第に大きな期待に変わりました。四月の修学旅行。東京では夢の国ディズニーランドや、日本で一番高い建物である東京スカイツリーなどに行きました。東京スカイツリーから見た景色は今でも鮮明に覚えています。鎌倉では鶴岡八幡宮を見学し、小町通りでお土産なども買いました。ホテルや移動のバスの中でも常に笑顔が溢れ、三日間のすべての時間が最高の時間でした。六月の運動会。学年を跨いだ絆ですべての競技を盛り上げていました。放送委員として実況をしていた私は、次から次へと言葉が出てきて、片時も目を離すことのできないくらい楽しかったです。学年種目で円陣を組んでクラスで一丸になった時、絆がより深まったのを感じました。チームの中心となり最後の大会に挑んだ部活動。結果が出なくて悔しい思いをしたこともありましたが、共に仲間と高め合ってきました。最後の大会ではそれぞれの部活が全力を出し切れたと思います。秋の文化祭。合唱発表では、それぞれのクラスが最善を尽くして歌いました。それまでの練習では意見が割れて揉めることもありましたが、互いに補い合い頑張りました。私たち三年生、A組もB組もそれぞれのパートを完璧にこなして、最高のパフォーマンスができました。今日は三年生のみんなで文化祭を超える素晴らしい門出の日にあふさわしい合唱がします。文化祭後は私たちの受験勉強が本格的に始まり、寒さの厳しい冬も仲間と共に支え合いそれぞれの志望校に合格するために頑張ってきました。

在校生の皆さん、これから部活動の大会や受験などたくさんの壁が立ちはだかつてきます。進路や人間関係などで悩むこともたくさんあると思います。その時は一人で悩まないで先生をはじめとする周りの人に相談してください。そして自分を信じて進むべき道を探してってください。私たちは、先輩として正しい姿を見せることができたかどうか分かりませんが、皆さんの先輩でいられたことを光栄に思います。これからも御菌中学校で頑張ってください。

先生方、三年間私たちの成長を見守ってくださりありがとうございました。勉強や部活動だけでなく、社会の中で生きていく上で大切なこともたくさん教えていただきました。校長

先生が集会で話してくださったダイヤモンドの原石の話が特に印象に残っています。私たちはこれからも自分を磨いていくことでまだまだ成長できるということを学び、その話に元気づけられました。先生方に教えていただいたことを何一つ忘れないでこれからも頑張っていきます。三年間支えてくださった3年A組の担任山本先生、学年の主任として私たちを見守ってくださりありがとうございました。3年B組の担任中世古先生、たくさんの迷惑をかけてきましたが丁寧に教えてくださりありがとうございました。副担任の濱口先生と大西先生、進路のことや授業の規律のことなどありがとうございました。

同級生のみんな、三年間ありがとう。共に過ごした時間は最高の思い出です。日々の何気ない学校生活、共に頑張った運動会や文化祭など全てが私たちにとって大切なものです。今までの思い出を全て語ることはできないけれど、私の一番の幸せは同じ教室で一緒に授業を受けられたことです。当たり前のことのようにみんながいる教室にいられたことが最高の思い出です。小さな出来事でも笑顔が溢れ、楽しく話せるとても楽しい三年間でした。これからは一人一人進む道も違うけれど、仲間との絆を胸にそれぞれの目標に向かって頑張っていく。

最後に家族へ。今まで迷惑をかけることもたくさんあったけれどいつも支え寄り添ってくれてありがとう。日々の送り迎え、部活動での弁当、また、温かい言葉で数え切れないほど助けてくれました。幸せな毎日が送れたのは家族のおかげです。いつもは正直になれず面と向かって言うことはできなかったけれど、この場で言わせていただきます。十五年間ありがとう。これからも迷惑をかけることもあると思いますが、高校に入ってから目標に向かって頑張るのでこれからも応援をよろしくお願いします。

結びになりますが、これまで私たちを支えてくださったすべての方々に御礼申し上げますと共に、三年間通った御蘭中学校の益々の発展を心から祈り答辞といたします。

令和8年3月6日 卒業生代表 山下 陽太